

性の正しい知識 身に付けて

市と地域医療協が各高校で講座

岩室氏「本音」で訴え

鉦路市と鉦路市地域医療協議会は、今年で14年目を迎えた高校生と各学校の教諭を対象にした「思春期保健講座(エイズ予防講座)」を18日からスタートさせた。11月までの期間に医師や保護司などの講師が各高校を巡り、「妊娠」「人工妊娠中絶」「性感染症」「避妊」などのテーマについて解説。高校生に正しい性に関する情報を提供して、その情報で自分の生活にどのように生かしたらいいのかを考えるきっかけづくりを図っていく。

講師のトップを切つて鉦路入りしたのは、神奈川県厚木市立病院の泌尿器科医で、地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長を務めている岩室紳也氏。性感染症予防と避妊法についてをテーマに、18日は鉦路工業高校と鉦路北陽高校、19日は鉦路江南高校と鉦路明輝高校で、それぞれ1年生を対象に講演した。うち鉦路江南高校(若林利行校長)では、1年生240人が体育館の床に腰を下ろして、岩室先生の話を聞き入った。同講師は生徒の中に分け入って「今日のルールは『分からない』と言わないこと」と前置きを

して、軽妙な口調で次々に生徒や教諭たちに質問し、普段はなかなか話題にできない「性感染症」や「避妊」について、正面から考えるきっかけづくりを行った。岩室氏は「自分のことは、インターネットで『コンドームの達人』と検索すれば、よく分かると思う。みんなが性感染症や避妊法について正しい知識を持つてほしい。望まない妊娠の危険性を理解してほしい」とユーモアを交えた「本音トーク」で、高校生に訴えかけた。

同講座は、10月に作家で保護司の大沼えり子氏を講師に迎え、鉦路商業高校、阿寒高校と鉦路東高校で開



生徒の中に入って語り掛ける岩室氏

く。さらに11月には埼玉医科大学の産婦人科医、高橋幸子氏が、鉦路工業高等学校(定門学校、鉦路工業高校(定門学校、鉦路湖陵高校)で講演する。